

第 1 回「日本語大賞」

テーマ 「人と人をつなぐ日本語」

中学生の部 優秀賞 受賞作品

「日本語の略語について思うこと」

海外

シアトル日本語補習学校 中学 2 年

菅原 賢

日本語の略語について思うこと

シアトル日本語補習学校 中学二年

菅原 賢

僕は、アメリカ生まれで、小さい頃に少しだけ日本に住んでいた以外は、アメリカにいますが、周りには日本語を話す人もいるし、日本語の補習校にも行っているから、日本語の会話は、全然問題ないと思っていました。

去年の夏休み、僕が初めて日本の中学校に体験入学した時、聞きなれない言葉がたくさんあり、自分が思っていたほど、僕の日本語はうまくないんだなと感じました。それは、北海道弁でもないし、意味がわかるようなわからないような言葉で、皆に聞くのとはずかしかつたので、わかっているふりをしました。お母さんに聞いても、辞書で調べなさいと言うので、辞書で調べたけど、載っていませんでした。インターネットで見て、あそこの生徒達が使っていたのは、略語だというのがわかりました。

そして、今年の夏もまた同じ中学校に体験入学することになり、今回は、僕も少し略語を理解したけれども、新しい略語が増えていたので、わからない言葉が結構ありました。今年は、デパチカ、アラフォー、写メなどの略語の意味を学びました。

「しかし、略語は、なんで、こんなに理解しにくい、言いづらい、考えても見当がつかない言葉なのに、日本で、はやるのか。そして、略語は本当に便利なのか。」と考えました。

それで、僕は、略語のことを詳しく調べてみました。その結果、言葉の五割以上が略されると、意味がわかりにくくなり、ほかの国の略語は、日本語の略語とは、少し形がちがうことがわかりました。例えば、エレキギターの略語のエレキはなんとなく意味もわかりませんが、写真メールの略語の写メは、五割以上略されているので、一体何のことだかわかりにくいのです。そして、外来語の略語は、英語の略語とは少しちがうことです。例えば、日本ではバスケットボールのことをバスケと普通に呼んでいます。英語で言うバスケットボールの略語はビーボールなので、外国人にバスケと言っても、通じないと思います。ですから、日本人が無意識に言葉に出してしまう外来語の略語は、外国人にとっては意味不明の言葉になります。

スタバ（スターバックスコーヒー）やベルスク（ベルビュースクエア）のようにアメリカに住んでいる日本人の間でよく使われている略語を、僕も時々使いますが、次々に変わる日本の略語は、難しいし、慣れていないので、スムーズに言葉に出すことができません。

もう一つ、僕が気になっていたのは、日本では若者だけでなく、大人までも普通の会話に、流行語の略語や若者語と呼ばれるような言葉を使っているのが、あまり、いい気がしませんでした。もちろん、大人も略語を使っていると思います。確かに略語は、便利なこともあるし、かっこよく聞こえるかもしれませんが。しかし、ほとんどの言葉を略語にして話すと、本来持つ日本語の美しさを失ってしまうような気がします。せめて、大人は、子ども達の良い見本となるように、普通の日本語で話してもらいたいと思います。

僕は日本語で文章を書くのが、あまり得意ではないし、いつも苦勞をしながら、日本語は、難しいと感じることがよくありますが、正しい日本語を覚えたいと思っています。特に日本の中学に体験入学をしてから、そう感じるようになりました。もしかして、僕は、外国に住んでいるから、日本語を大切にしたいと思うのかもしれませんが。